

令和6年度 事業計画書

公益財団法人 島岡教育基金

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変わり、私たちの生活はコロナ禍前の状態に戻りつつあります。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は一年を超え、米中対立の激化や中東情勢の緊迫化など、世界経済の先行きは更に不透明感が増す一年になりました。

教育に関しては、GIGA スクール構想の下、全国の小中学校で一人一台のデバイス配布がほぼ完了し、教育の情報化が進んだことで、学習方法や教育環境に新たな可能性を生み出しました。2024年からは ICT を活用した授業の多様化が注目されており、デジタル教科書の導入によって、生徒一人ひとりの理解度に合わせた「個別最適な学び」が進み、「主体的な学び」へ繋がっていくことが期待されます。このような ICT の活用は、単に技術の導入に留めず、効果的な利用方法を検討し、活用することで、生徒一人ひとりの能力を最大限に引き出す教育に繋がることを期待したいものです。

さて、当基金は今年度も子どもたちの豊かな心の育成に向け、日々努力されている教育現場に対して、微力ではありますが下記のとおり活動を継続いたして参ります。

低金利状況が依然として続く中、当基金の運営は従来以上の厳しさを強いられています。関係各方面には一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1) 教育研究助成事業 — 青少年の“豊かな心を育てる”には、教育に携わる方々のたゆまぬ研究努力に懸かっております。本年度も3グループを対象に各20万円を助成いたします。
- 2) 職業教育援助事業 — 優れた技術者・技能者育成と工業教育向上のため、本年度も5校を対象に各10万円を助成いたします。
- 3) 家庭教育講演会援助 — 青少年の人間性とか倫理などの徳育に関しては、学校と子どもの間にある家庭での教育が欠かせません。従って今年度も継続して講演会開催への支援を行います。
- 4) 家庭教育用冊子の発行 — 本年も教育研究実践例第24集の発行を予定しております。
- 5) 各種団体援助 — 各小・中学校長会に対し、本年も昨年と同額を予定しております。

以上

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| (1) 資金調達の見込みについて | 当期中に資金調達の予定はありません。 |
| (2) 設備投資の見込みについて | 当期中に重要な設備投資（除却または売却を含む。）の予定はありません。 |

以 上

令和 6 年度
収支予算書内訳表（損益計算ベース）
令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

(円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	102,750	47,250	150,000
基本財産受取配当金	1,452,200	667,800	2,120,000
②受取寄付金	0	0	0
③雑収益			
受取利息		30	30
投資有価証券評価益	0	0	0
④特定費用準備金資金取崩額	1,800,000	0	1,800,000
経常収益計	3,354,950	715,080	4,070,030
(2) 経常費用			
①事業費			
教育研究助成	600,000	—	600,000
職業教育援助	500,000	—	500,000
家庭教育講演会援助	2,000,000	—	2,000,000
家庭教育用冊子発行	150,000	—	150,000
各種団体援助	120,000	—	120,000
②管理費			
会議費	—	170,000	170,000
役員報酬	—	180,000	180,000
旅費交通費	—	5,000	5,000
通信運搬費	—	30,000	30,000
什器備品費	—	0	0
消耗品費	—	0	0
印刷製本費	—	300,000	300,000
雑費	—	50,000	50,000
経常費用計	3,370,000	735,000	4,105,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 15,050	△ 19,920	△ 34,970
投資有価証券評価損益	0	0	0
当期経常増減額	△ 15,050	△ 19,920	△ 34,970
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券評価益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,050	△ 19,920	△ 34,970
一般正味財産期首残高	—	—	82,364,639
一般正味財産期末残高	—	—	82,329,669
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	—	—	21,200,000
指定正味財産期末残高	—	—	21,200,000
III 正味財産期末残高	—	—	103,529,669